



令和5年12月 牧野保育園

今年も残すところ、あと1ヶ月となりました。
木枯らしが身にしみる季節になり、朝晩の冷え込みも厳しくなってきました。そして師走、なんとなく気忙しく落ち着かない時期です。大人の忙しさが中心になりがちだからこそ、お子さまの生活リズムを意識していただければと思います。

12月の予定

6日(水) 身体測定
6日(水) 7日(木) 検尿
13日(水) 検尿予備日

気をつけよう!! 冬の感染症

RSウイルス感染症 潜伏期間4~6日

- 原因** RSウイルスの感染によって起こる集団流行しやすい感染症。特に1歳未満の乳児がかかりやすく、気管支炎や肺炎を起こす。
- 症状** 鼻水や咳などの症状で始まり、呼吸時にヒューヒュー、ゼーゼーといった音が出る。重症化すると危険な状態になることも。
- 対応** 今のところRSウイルスに対する根本的な薬はない。早めに受診し、こじらせないようにすることが第一。※気管支炎・肺炎などの合併症に注意

インフルエンザ 潜伏期間1~4日

- 原因** インフルエンザウイルスの感染によって起こる。咳やくしゃみによる飛沫感染。便に排出されるウイルスなどによる接触感染。
- 症状** 悪寒やのどの痛み、咳、鼻水などに風邪の症状から始まり、高熱が出てくる関節痛、筋肉痛などの症状が出る時もある。2~3日で熱が下がっても全身状態は1週間くらい続き、重い合併症もあるので、注意が必要である。
- 対応** できるだけ医師の診察を早く受けましょう。消化の良いものを摂り、高熱による脱水症状を防ぐため、水分補給に気をつけましょう。

マイコプラズマ肺炎 潜伏期間2~3週間

- 原因** マイコプラズマという菌の感染によって起こる。異型肺炎ともいわれ肺炎の一種。しつこい咳や頑固な発熱が特徴。9歳以下の感染率が高い。
- 症状** 咳・発熱・頭痛などの風邪の症状、乾いた咳は徐々に激しくなり、痰も出る。発熱や他の症状が治っても、咳はひどくなる。
- 対応** 近年、薬の効きにくいマイコプラズマ肺炎も増えてきており、早めの受診が大事。※中耳炎・鼓膜炎・発疹などの合併症に注意。

気管支炎

- 原因** インフルエンザや風邪の症状が、のどから気管支まで進んだ状態。
- 症状** 熱が高くなり、痰が絡んでゼロゼロという湿った咳が長く続く。長引くと症状が重くなり、呼吸困難に陥ることも。
- 対応** 水分を十分に与え、室内の乾燥を防ぐ。また、咳は痰を体外に出すために大切な反応なので、むやみに市販の咳止めを使うのは避けましょう。

溶連菌感染症 潜伏期間2~5日

- 原因** A群溶血性連鎖球菌という細菌が原因となる病気の総称。飛沫で感染する。
- 症状** 高熱が出ることがあり、のどのはれ、嘔吐、頭痛などの症状が現れる。首のリンパ節がはれたり、筋肉痛や中耳炎を起こすことも。その後全身に小さな発疹が出たり、舌に白い苔状のものがつき、3日くらいすると赤くブツブツしてくる(いちご舌)。発疹や舌のブツブツが出ず、のどが痛いだけの時もある。
- 対応** 抗生物質で治療する。症状が治まったからといって、独断で薬をやめたりしないこと。

感染性胃腸炎 潜伏期間1~3日

- 原因** ウイルス性の感染によるもの。冬はノロウイルス、ロタウイルスが代表的。主に経口、飛沫感染だが、ノロウイルスの場合は、食品から感染することもある。生後半年~2歳くらいの子が多くかかる。
- 症状** 激しい嘔吐の症状が突然現れ、下痢がそれに続き、便が白っぽくなることも。
- 対応** 激しい下痢が続くので、イオン飲料や湯冷しなどで十分に水分を補給し、脱水症状にならないようにする。症状は2~3日から1週間程度で治る。

体調が悪い時・・・

「熱が高めですが」

「食欲があるので・・・」

「機嫌が良いので・・・」と登園し、結果熱が上がってしまったり、何日か休むことになってしまったということがあります。風邪は、ひき始めが肝心です。早めに受診して、安静を心がけてください。

年末年始の急病は？

年末年始はほとんどの病院が休診となります。お子さまの急な発熱や怪我に備えて、事前にかかりつけの病院の他、近くの救急病院の診療時間と休診日は確認しておきましょう。
また、帰省先の救急病院の情報も把握しておくことが大切です。